



ロータス林のわくわく通信



18年2月18日発行

3月 弥生

今年の冬は、本当に寒かったですね。ロシアでは、マイナス45℃でも暮らしていると聞いて、同じ人間として、信じられないですね。さて、去る1/8日に(前日大雪)に、徳島から高知へ行きました。池田の吉野川オアシスから、2つ目のトンネルから三つ目のトンネルまでの間で、生まれて初めて一面白銀の世界を見ました。

「トンネルを抜ければそこは雪国だった。」川端康成の小説のフレーズどおり、前後左右もう真っ白！木々に積もる雪まで、もりもりに積もっている木、霽のように積もっている雪を、肉眼でもはっきりと見えて、「こんな景色を見るのは、これが初めて最後かも・・・」と感激しました。

春は近いようで、なかなか桜の蕾も膨らんできませんが、「寒さももう少し我慢すれば、春になる」という、四季の移り変わりのお陰で、日本人は災害が起きてても、暴動も盗みもなく、〈辛抱〉とか〈持ちこたえれば展望が明るくなる〉という、希望的観測を持っている民族なのではないかと思いますが、皆様はどのように思いますか？

3月は、送迎会・卒業・別れと、新しいスタートの時期ですが、去って行く人には敬意を払い、新しく出会った人には感謝して、新年度を迎えたいですね。

高校受験・大学受験のお子様をお持ちだったお父様、お母様はお疲れ様でした。



～薄毛の人に朗報です～ “使い捨てカツラ”

もうご存知でしょうか？ (株)プロピアという会社が、頭皮にピッタリ☆、ブラッシング・洗髪もOKの使い捨てカツラ、商品名「ヘアコンタクト」を実現しました。近頃CMでやってますよね。イヤ～、画期的！

そのカツラ、人工毛を帝人が開発し、人工毛を植えてある0.03ミリの透過性シートを日東電工が開発し、シートに人工毛を特殊技術で縫い付け、自由自在な形状に切って、薄くなった頭皮部分に貼りつけるだけらしい。この社長、最初はバンドエイドに毛を縫い付けることから始めて、おびたしい試行錯誤の末、ついに目指すカツラへの成功につながったと言います。

出来上がったカツラは、多くの人に喜ばれました。火傷が原因で、頭皮の一部に毛髪が生えなくなった人は「神様からのプレゼントだ」と言って涙を流しました。

歴史的な大発明のほとんどが、人類愛の結果である。という過去の発明と同じく、保知社長らの「悩んでいる人を救いたい」という人間愛と情熱が、多くの人の賛同を得て、資金援助、人的援助があり、やっと成功したというから感動ですね。ハリウッドの映画会社からの大量発注もあったり、ファッション界からも注目されているらしいので、一度試してみたいですね。

第一回 第100号の発行を記念して

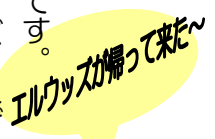
- 片付けろ！ 言っただ上司が片付いた
- 人生の 第二の職場は 妻の部下
- 見切りつけ 辞めた会社が 成長し
- 旅先の 妻から電話「ゴミ出したあ〜」
- 忘れてた！ 気づいた事も 忘れたい
- 少子化を 食い止めたいが相手なし



なっちゃんのおすすめ映画

キューティール・スロンド

1月号に続いて、2月のお奨め映画は、前作の続編“キューティール・スロンド2”です。キュートさ全開の演技でハッピーと元気をくれた、リーズウエザースプーンのエルウツズが帰ってきた!! 今回はハーバード・ロースクールを、優秀な成績で卒業したエルウツズが、晴れて大手法律事務所就職。大学教授の優しい恋人エメットとの結婚も決まり、仕事もプライベートも順風満帆。そんなある日、エルは飼ったチワワ「ブルーズ」の母犬を、結婚式に招くために居場所を探し始めるが、ようやく見つけた母犬は、なんと化粧品開発の動物実験室にいた!!



ショックを受けたエルは、母犬を救う為、政治の都ワシントンDCへ乗り込み、動物実験を規制する“ブルーザ法案”の成立に向け、持ち前の正義感と抜群の行動力で、メゲながらも、いつの間にか反対勢力を味方につけ快進撃。女性社交クラブ・デルタ・ヌーのいけてるお姉さん達も大活躍。めげない！逃げない！へこたれない！と、自分の心の声を信じ前進し続けるエルの姿に、見れば気分爽快になること間違いなし。今年も。動物実験反対の、犬と飼い主たちのデモ行進が圧巻でした。

工場長の喜多より一言

「僕たちは、地球環境に優しい部品を使っています」

「車検の度に乗り換える」「2回目の車検で乗り換える」って言った人が多かった10年前と比べて、車の平均寿命はとて延びてきました。10年使った車で、外観は古びていないのに、エンジンが壊れた・ミッションが壊れた・外装を傷つけてしまった・ガラスが割れた等など、まだまだ乗れるのに壊れてしまった場合には、中古部品又は中古部品を再生した‘リビルト品’を探し、お奨めしています。

同じ年式、同じ型式のお車の部品を探す訳ですから、内部部品はそこそこ同じ程度に傷んでいる事が多いので、リビルト品をお奨めしています。品質が徹底されていて、保証も付いているからです。外装の部品は、ほかの部品がくたびれてくるので、傷んでいる部分だけがまっさらになるのも不自然です。そこで相性の良い中古部品をお探ししています。お財布に優しく、自然な直し方が一番だと考えています。安心してお任せください。

(株)林自動車

〒770-0012 徳島市北佐古2番町4-44
TEL 088-631-6685 FAX 088-631-5151
URL <http://www.lotas-hayashi.co.jp> E-mail info@lotas-hayashi.co.jp

